H小総3

番組研究委員会 実践レポート

1 提案者 宮尾 匠(松川村立松川小学校)

2 提案内容

- (1)単元名「知らせよう!学校で安全に過ごすコツ」
- (2) 利用した番組「キキとカンリ」
- (3) 授業のねらい

1年生に学校の危険な場所を紹介する場面で、工夫やルールを考えたり、友だちと練習しあったりすることを 通して、自分が考えた危険な場所や気をつけるポイントを1年生にわかりやすく伝えることができる。

(4)授業の実践記録

時	学習活動	児童の反応	教師の手立て	備考
1	○「学校であぶない思	あぶない思いをしてい	事前にとったアンケー	
	いをしたことがある	る友だちが多いな。	ト結果を見せる。	
	か」のアンケート結果	・1番多かったのは、階		
	を見て、意見を出し合	段で転びそうになったこ	「あぶない思いをした」	
	う。	とだな。	ことがある」という経験	
		・学校の中のあぶない所	を基に、次の課題を持て	
		ってどこかな。	るように声がけする。	
2	○「キキとカンリ」を視	・見えづらい場所はあぶ	・校内、遊具、通学路の	
	聴する。	ないんだな。	3つの動画を見せ、それ	
		工夫とルールがある	ぞれについて危険がある	
		と、危険が防げるんだな。	ことを確認する。	
3	○校内を探検して、1	・見つけた場所を写真で	・1 年生が行動しそうな	
	年生に紹介するために	撮ればいいんじゃない。	範囲で、自分が「あぶな	
	写真を撮る。	・ここのすのこは、踏み	い」と感じる場所の写真	
		外したら危ないな。	を撮影させる。	
			・「工夫」と「ルール」を	
			意識させる。	
4	○発表するための準備	・すのこは、踏み外した	「どこ」で「何が」あぶ	
	をする。	ら危ないから、ゆっくり	ないか、気を付ける「工	
		確認しながら歩くように	夫」や守るべき「ルール」	
		教えよう。	を紙に記入させる。	
5	○1年生の教室に行っ	・1年生に分かりやすく	・1年生2人、2年生2	
	て発表する。	発表できるように、読む	人を基本に、4人組で発	
		速さに気を付けよう。	表会をする。	
		・しっかり聞いてくれて	グループを変えて、3	
		嬉しかった。	回繰り返す。	

【活動の様子】



↑みんなで「キキとカンリ」を視聴



↑撮影した写真を見て「くふう」や 「ルール」を紙に記入する



↑「あぶない」と思ったところを撮影



↑1年生に撮影した写真と紙を 見せながら発表

(5) 考察

○子どもたちの活動後の振り返り

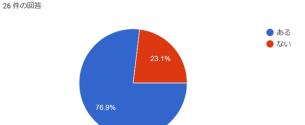
I年生の発表の時、大丈夫かなと思っていたけど、 発表がうまくできてよかったです。I年生の発表のために、どこがあぶないかな、どういう言葉を使えばいいかなって思った。発表がうまくできてよかったです。 Ⅰ年生が安全に学校ですごしてもらいたいから、いっぱいがんばってよかった。写真を撮ったり、書いたりするのは大変だったけど、最終的にⅠ年生にわかってもらってよかったです。

学校の中であぶない思いをしたことがありますか。

○成果と課題

- ○動画を視聴したことで、何を1年生に伝えたらいいかということが明確になった。特に、「くふう」と「ルール」を意識して説明していた。
- ○事前に Google フォームを使ってアンケートをとった。「自分たちの経験」がきっかけになって学習がスタートしたので、より必要感を持てたと感じる。経験を語らせた際に、「あ、ぼくと同じだ」というような声がたくさん聴かれた。

△3つの場所に限定したが、どこにするのか場所が 決まらなかったり、何を伝えたらいいか困ったり する姿も見られた。見通しをより明確に持たすこ とができればよかった。



(6)番組への要望

・今後も「安全教育」「防災教育」に関するコンテンツをアップしてほしい。